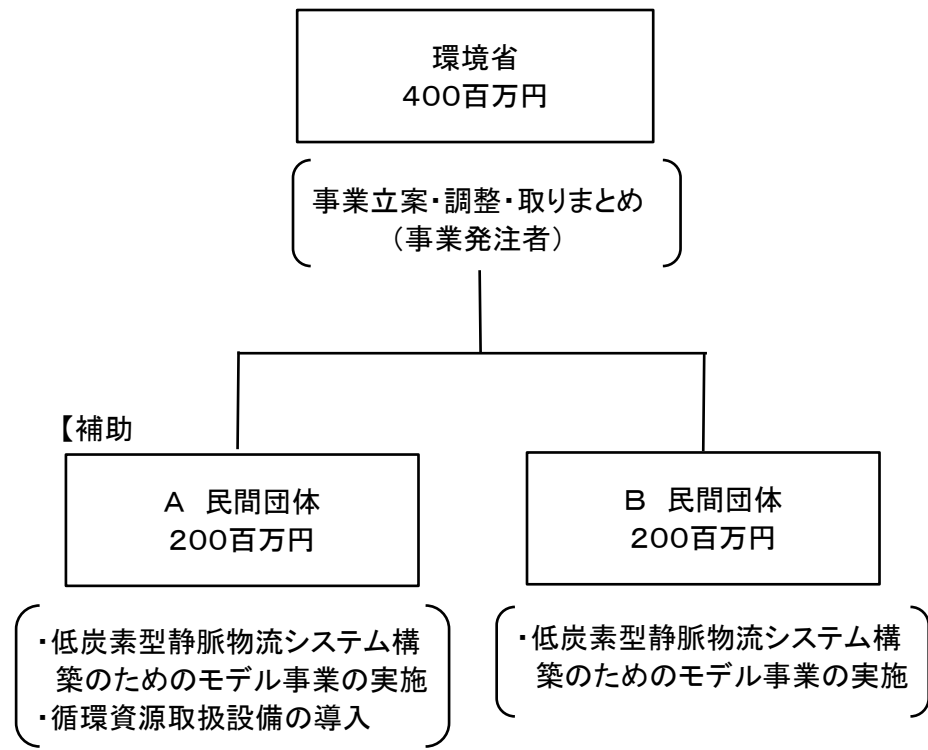


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	モーダルシフト・輸送効率化による低炭素型静脈物流促進事業（国土交通省連携事業）		担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度～30年度		担当課室	産業廃棄物課		産業廃棄物課長 塚本直也	
会計区分	エネルギー対策特別会計（エネルギー需給勘定）		政策・施策名	1.地球温暖化対策の推進 1-2 国内における温室効果ガスの排出抑制			
根拠法令（具体的な条項も記載）	特別会計に関する法律（平成19年3月31日法律第23号）第85条3項第1号ホ		関係する計画、通知等	循環型社会形成推進基本計画、総合物流施策大綱、社会資本整備重点計画、日本再生戦略、環境基本計画			
事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	従来、循環資源の輸送形態は陸送（トラック輸送）が約9割を占めており、海運は約1割にすぎず、モーダルシフトは進んでいない。しかし、運賃負担力が小さく、「急がない貨物」（納期の制約が少ない）である循環資源の特性を生かし、CO2排出量の少ない海運への積極的転換を促すことは、循環資源輸送における低炭素化、低コスト化に有効である。このため、本事業は、海運を活用した低炭素型静脈物流システムの構築を支援することにより、静脈物流のモーダルシフトを推進し、温室効果ガスの削減を図るとともに、循環型社会の構築に寄与する。						
事業概要（5行程度以内。別添可）	静脈物流のモーダルシフト・輸送効率化を推進するため、海上輸送による低炭素型静脈物流システムの構築に必要な経費及び循環資源取扱設備の導入経費の一部について補助を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額（単位：百万円）	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算					
		繰越し等					
		計					400
	執行額						
	執行率（%）						
成果目標及び成果実績（アウトカム）	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値（年度）
	静脈物流のモーダルシフト・輸送効率化を通じたCO2排出量の削減や、静脈物流コストの削減による未利用循環資源のリサイクルや高次利用の推進等を成果目標としているが、定量的な目標値の設定は困難。	成果実績	達成度	%			
活動指標及び活動実績（アウトプット）	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	事業実施件数	活動実績（当初見込み）		-	-	-	-
単位当たりコスト		(円/)	算出根拠				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金		400				
	計		400				

事業所管部局による点検					
	項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	静脈物流のモーダルシフト・輸送効率化に当たっては、取引コストの高さや不確定要素の大きさ等から、事業初期段階から事業採算性を見込むことが難しく、純粋に民間による取組では進まないため、国費による支援が必要。また、運賃負担力が小さく、納期の制約が少ない循環資源は、本来海上輸送に適しているにもかかわらず、循環資源の輸送形態は陸送(トラック輸送)が大宗を占めており、モーダルシフト・輸送効率化による低炭素化の余地が大きい。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。	-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	/			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	/			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	/			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	/			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-			
	事業番号	類似事業名			所管府省・部局名
点検結果	・補助事業者の決定については、補助目的により合致した事業を採択することとする。				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成22年	平成23年	平成24年		

※新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)